

YACかわら版 514

レウオトビ火山 2

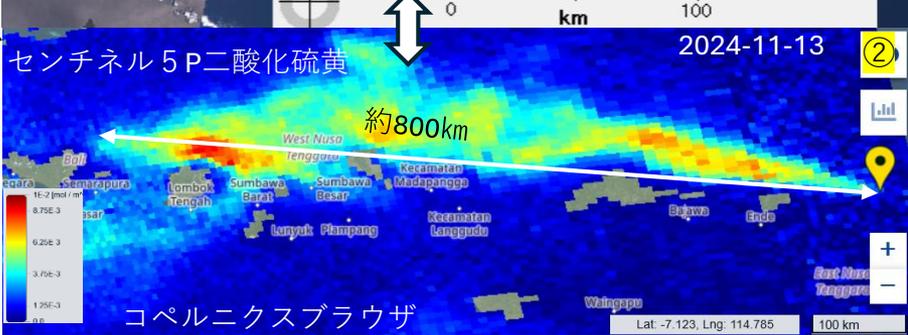
- 1 コモド国際空港 (西210km)
- 2 フランシス・ザベール・セダ空港 (西60km)
- 3 H・ハサン・アロエブスマン空港 (西南西126km)
- 4 ソア空港 (西190km)

センチネル 3 OLCI ①



11月11日、降灰のために閉鎖されたままの空港の位置

EOブラウザ→EISEI



コペルニクスブラウザ

2024-11-13 ②

GVP (世界火山学プログラム) の最新の週次レポート (11月6日~11月12日) によれば、レウオトビ・ラキラキ (北側の男山) の噴火活動は11月5日~12日にかけて活発で、高い火山灰の噴煙、爆発、火砕流、溶岩流が発生し、住民、インフラ、交通機関に重大な影響を及ぼしたと報告しています。 <https://volcano.si.edu/volcano.cfm?vn=264180>

レウオトビ火山の活動の様子は、11月13日に多くの衛星が観測しています。その様子を紹介しましょう。

- ①センチネル 3 天候に恵まれ噴煙が西に流れる様子が広範囲に確認できます
- ②センチネル 5 P 噴煙に大量の二酸化硫黄が含まれています。
- ③センチネル 2 火口周辺の高温部分が確認できます。

④⑤センチネル 1

噴煙の下の様子が確認できます。

④、④-2 火口部分に新たな火口が増えたり、火口の北西部分に変化しています

③センチネル 2 でも確認できます。

⑤ランドサット 9

熱赤外の10バンドでカーソル位置の温度が確認できます。

活発な活動が続き大きな被害が発生しているレウオトビ火山の活動はいつまで続くのでしょうか。多様な衛星群のデータで、追ってみましょう



①
②
③
④
④-2
⑤
⑥
⑥-2
⑥-3